

御田植祭

3月20日(金)・安岐町明治諸田山神社

諸田山神社御田植祭(大分県指定無形民俗文化財)は、文政4年(1821年)から約190年にわたり諸田地区で受け継がれており、以前は旧正月17日に行われていましたが、平成9年から毎年春分の日に行われています。

同地区でつくる保存会の皆さんが、五穀豊穰、氏子繁栄を祈念し、畦塗りや田植えなどの一連の作業をユーモラスに演じると、会場内は笑いの渦に巻き込まれていました。

また、会場では諸田地区の活性化を図ろうと昨年12月に結成された「元気な諸田を作る会」の皆さんが、地元の米やマーマレードの販売を行い、地域づくりに協力してくれる「応援隊」への加入を呼びかけました。



交通死亡事故ゼロ4500日達成 富来地区交通安全祈願祭

国東町富来地区内での交通死亡事故ゼロ4500日達成を記念して、県交通安全協会国東支部富来分会(花木英明分会長・1100人)は、3月15日(日)午前10時から国東町富来の八坂社で交通安全祈願祭が開催しました。同地区では、平成8年11月18日以来「死亡事故ゼロ」の記録を伸ばし、15日に4500日を達成しました。

祈願祭には、富来分会の関係者約30人が出席。花木分会長が「これからも交通安全に努め、事故ゼロをつづけていきましょう」とあいさつ。来賓の同協会国東支部の諸富忠支部長、足立正人国東警察署長、高木正史副市長、清国仁士市議会議員が祝辞を述べた後、女性ドライバー協議会の田吹鈴美会長が、富来路・安心まちづくり七つの誓いを読み上げ、家庭、地域、職場をあげて交通事故撲滅を誓いました。

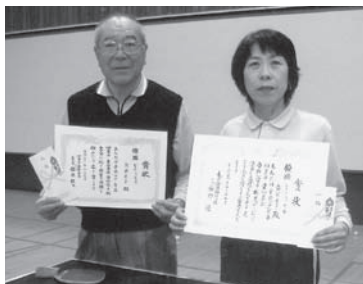


卓球大会で夫婦で優勝・準優勝

2月15日(日)に行われた国東市・東国東郡卓球選手権大会で、武蔵町内田の穴見清敏さん、年子さんご夫妻が優勝・準優勝に輝きました。レクリエーションの部に出場した2人は、決勝戦で対決。夫婦対決は年子さんが制して優勝、清敏さんが準優勝でした。

穴見さんご夫妻は、毎週火・金曜日の2回、国東体育館で夢さきスポーツクラブの仲間と、健康増進と親睦を深めようと練習しています。

穴見さんご夫妻は「皆さんも健康のために一緒にいい汗を流しませんか」と話しています。



▲穴見清敏さん、年子さんご夫妻

第29回県子連芸能文化祭

3月1日(日)・安岐中央公民館

大分県子ども会育成会連絡協議会主催の文化祭には、県内各市町村の子ども会13団体・約400人が参加。芸能の発表と合せ、地域に残る伝承芸能の継承を図り子ども会相互の親睦と、表現力豊かな子どもの育成を目的に毎年開催されています。

国東市からは、安岐町下山口ひばり子ども会「アニメイム」・武蔵町内田子ども会「龍神太鼓」・国東町連合子ども会「ジャズダンス」が出演。親睦と交流を深めました。



ファイナージュニアリーダー(中学・高校生)30名と、会場の▲子どもたち全員でダンスを踊りました